

立教186年 春の学生おぢばがえり 次代を担うようぼくへ



日々は、学生会の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。コロナ禍はまだまだ収まらず、感染者は増加の一途をたどっています。そういった中でも本年は、教祖百四十年祭に向かう三年千日の歩みがスタートを切る、大切な年です。

静岡教区の学生会として、何とかこの旬に学生さんのスタッフを迎え、学生会が主体となつて会活動を進めていく体制を整えたいと思っております。その足掛かりとして、また、一年間の学生会活動の集大成として、同時に会活動のスター

トの位置にあるのが3月28日におぢばで開催される「春の学生おぢばがえり」（以下、春学）です。

この春学に、静岡教区として今年30名の参加者と臨みたいと思っております。

思い返せば、私は今でこそ学生会活動に学担当委員会（以下、学担）として携わっておりますが、自身が学生時代には学生会活動が大嫌いでした。勝手なイメージですが、学生会に行っている子はお道にやたらと熱く、やたらと行事に勧誘してくる。仕方なく参加した行事では、みんなが円になって暗い顔で話し合っている。「どう思う？」と聞かれても、そもそも何の話もしていないのかも分からない。「なぜそこで俺に振る？」と誘った子を恨みました。「ん？ ええんちやうかなあ」と当たり障りなく答えたのを覚えています。

そんなこともあって学生会の印象は最悪でした。

しかし、同じ大教会の先輩がいつも誘ってくるのです。その先輩は高校の寮の先輩でもあって、簡単には断れない。当時の寮の上下関係は、何よりも絶対的なものです。そんな先輩からの誘いですが、学生会が大嫌いな私は断り続けました。

しかし、ある時フツと「そろそろ行かないと、あの先輩に悪いな」と思い参加しました。そこから、行事の企画運営に携わり、行事に大勢の参加者ができた時の喜びを知って、今でも同じようなことをしています。

学生会活動の魅力は、同じ世代の仲間と一緒に行事を企画し、運営していくことだと私は思います。どうしたら一人でも多くの方に来てもらえるのか。どうしたら喜んでもらえるのか。そこに真剣に取り組む中に不思議な友情が生まれ、それは一生の友達となります。

私も学生会活動に取り組む中に運命的な出会いがあり、信仰の上での疑問や困難なことがある時に頼る友人ができました。もちろん、3月28日の春学のことも相談しています。

私が学担に携わるようになり、色んな場面で声をかけてきました。が、案外「学生会の活動に参加しなさい」「行事に参加してもいいよ」、そう思ってもらえる会長さん、奥さんは少ないように感じます。「うちの子はそういうの苦手だと思っただよね」「部活があつてむりだと思っただよね」と、本人に声をかける前から決めていて

日々は、学生会の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。コロナ禍はまだまだ収まらず、感染者は増加の一途をたどっています。そういった中でも本年は、教祖百四十年祭に向かう三年千日の歩みがスタートを切る、大切な年です。

この春学に、静岡教区として今年30名の参加者と臨みたいと思っております。

思い返せば、私は今でこそ学生会活動に学担当委員会（以下、学担）として携わっておりますが、自身が学生時代には学生会活動が大嫌いでした。勝手なイメージですが、学生会に行っている子はお道にやたらと熱く、やたらと行事に勧誘してくる。仕方なく参加した行事では、みんなが円になって暗い顔で話し合っている。「どう思う？」と聞かれても、そもそも何の話もしていないのかも分からない。「なぜそこで俺に振る？」と誘った子を恨みました。「ん？ ええんちやうかなあ」と当たり障りなく答えたのを覚えています。

そんなこともあって学生会の印象は最悪でした。

しかし、同じ大教会の先輩がいつも誘ってくるのです。その先輩は高校の寮の先輩でもあって、簡単には断れない。当時の寮の上下関係は、何よりも絶対的なものです。そんな先輩からの誘いですが、学生会が大嫌いな私は断り続けました。

しかし、ある時フツと「そろそろ行かないと、あの先輩に悪いな」と思い参加しました。そこから、行事の企画運営に携わり、行事に大勢の参加者ができた時の喜びを知って、今でも同じようなことをしています。

学生会活動の魅力は、同じ世代の仲間と一緒に行事を企画し、運営していくことだと私は思います。どうしたら一人でも多くの方に来てもらえるのか。どうしたら喜んでもらえるのか。そこに真剣に取り組む中に不思議な友情が生まれ、それは一生の友達となります。

私も学生会活動に取り組む中に運命的な出会いがあり、信仰の上での疑問や困難なことがある時に頼る友人ができました。もちろん、3月28日の春学のことも相談しています。

私が学担に携わるようになり、色んな場面で声をかけてきました。が、案外「学生会の活動に参加しなさい」「行事に参加してもいいよ」、そう思ってもらえる会長さん、奥さんは少ないように感じます。「うちの子はそういうの苦手だと思っただよね」「部活があつてむりだと思っただよね」と、本人に声をかける前から決めていて



第641号

発行所
天理教静岡教務支庁
〒425-0013
焼津市岡当日1番地

TEL (054) 626-1333
FAX (054) 628-4615
Email:skyou@live.jp

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。

本人まで声が届いていないのが実情です。何とかそこで背中を押ししていただき、学生会活動に参加するように促してもらいたいと切に願います。

今の学担のスタッフは素晴らし人材が揃っていて、間違いなく参加してくれた子には満足を持ち帰ってもらえると確信をしております。一年の集大成の春学では、大勢の参加者を頂いて、静岡教区の学生会が盛り上がりつついくきっかけとなるような集まりにしたいと思います。この記事を讀まれた方は漏れなくお近くの学生さんに春学の声掛けをして頂き、人生の貴重な出会いもある学生会活動への参加を促して頂きたいと思えます。

教区学生担当委員長

岡野多吉

新任・教会長に就任して

西遠支部
山名大教会部属
和加道分教会

三代会長

森田 直晃



立教百八十五年十月二十
六日、立教の元一日に、御
存命の教祖の御前にて三代
会長の理のお許しを頂きま
した。教祖百四十年祭三年
千日を目前に迎える時旬に
会長交代の節目を頂けたこ
とに感謝の心でいっぱい
あります。

また十一月十三日に大教
会長様の御臨席を賜り、上
級会長様御夫婦、来賓の先
生方をはじめ大勢の皆様方
には、御多忙の中御参拝頂
き、三代会長就任奉告祭を
勤めさせて頂けたことを心
より厚く御礼申し上げます。
和加道の道は、昭和の五

年に曾祖母に当たる森田し
のが仮死状態の重患に陥つ
た時、一座のおさづけで鮮
やかなご御守護を頂き、曾
祖父である森田与作が末代
に互ってこの道の信仰につ
くす心を定めたことに始ま
りました。

そして、祖父である森田
辰雄が教祖八十年祭の旬に
よふぼく信者が一手一つに
なって昭和四十二年に教会
設立のお許しを頂きました。

その後、神殿普請や境内
地拡張など、今の姿がある
のは親神様・教祖の御守護
は申すまでもなく、歴代の
会長様、諸先輩方、ようぼ
く信者の皆様が、一手一つ
にお道をお通り下されたお
蔭であると、心より有難く
思わせて頂いております。

まだまだ未熟で、若輩者
ではございますが、夫婦揃っ
て旬の風にしっかりと乗り、
教祖のひながたをたどり、
教祖にもたれて成人の道を
一步一步前進させて頂きた
いと思えますので、これか
らもご指導ご鞭撻を賜りま
すようよろしくお願い致し
ます

道友社の新刊書



続 おやさまの情景
価格：990 円(税込)

【本書に出てくる逸話】

- 七 「真心の御供」
 - 二一 「結構や、結構や」
 - 三三 「国の掛け橋」
 - 六二 「これより東」
 - 六四 「やんわり伸ばし
たら」
 - 七一 「あの雨の中を」
 - 七二 「救かる身やもの」
 - 一〇〇 「人を救けるのやで」
 - 一三七 「言葉一つ」
 - 一三九 「フラフを立てて」
 - 一四四 「天に届く理」
 - 一九〇 「この道は」
- 【内容紹介】
教祖のお心にふれ、確かな道へ
『稿本天理教教祖伝逸話篇』を4コマ絵本で身近に！
- 『稿本天理教教祖伝逸話篇』
のお話を、4コマの絵と文
で紹介する第2弾。『人間
いきいき通信』の不定期連
載に、描き下ろしの2篇を
加えた12篇を収載。各話に
解説付き。

A5判変型・並製 / オールカラー / 80ページ

令和4年 教区提出願書

事情願書

○任命願・臨時祭典願

7件

教区受付日

5月14日

静宏分教会 (静岡)

5月14日

静葵分教会 (静岡)

6月19日

岡部分教会 (益津)

8月29日

笠井分教会 (山名)

9月10日

錦道治分教会 (錦江)

9月18日

和加道分教会 (山名)

9月25日

焼津南分教会 (益津)

12月7日

東戸倉分教会

○移転願・臨時祭典願

○恒例祭日変更願

10月18日

浮穴分教会 (山名)

○移転建築願

8月20日

愛島分教会 (愛静)

○建築模様替及神殿

修築並屋根葺替願

○遷座祭日願

10月14日

犬居分教会 (山名)

○神殿建築願

○遷座祭日願

9月18日

日赤分教会 (阪東)

○神殿増築願

6月24日

城山大会 (本部)

○臨時祭典願

(創立130周年記念祭)

6月24日

城山大会 (本部)

7月25日

下田分教会

○移転願・臨時祭典願

○恒例祭日変更願

7月25日

下田分教会

○基本財産一部処分

法人願書

○境内地及境内建物拡張

承認並飛地境内地承認願

3月25日

下田分教会 (山名)

○飛地境内地及境内

建物拡張承認願

1月22日

愛町分教会 (麴町)

(愛中布教所)

○飛地境内地及境内

建物承認願

8月20日

愛駿分教会 (愛静)

○基本財産一部処分

承認願

3月11日

本静鹿分教会 (東本)

7月23日

南遠分教会 (山名)

7月23日

富士分教会 (山名)

8月21日

島田分教会 (益津)

9月29日

志静分教会 (津)

10月6日

愛駿分教会 (愛静)

○基本財産一部交換

承認願

8月4日

山名大会 (本部)

○特命代表役員任命願

8月4日

龍駿分教会 (佐野原)

静相分教会 (白羽)

○宗教法人合併承認願

1月16日

湖西 ↓ 濱名

1月22日

本翠松 ↓ 本翠

1月29日

静相 ↓ 白羽

3月31日

鎮玉 ↓ 西大濱

5月12日

佐倉町 ↓ 佐野原

6月25日

萩間 ↓ 白羽

9月10日

八丈島 ↓ 佐野原

9月18日

釜石白浜 ↓ 伊東

11月5日

龍駿 ↓ 龍南

12月7日

東横濱 ↓ 北豆

○教会規則変更承認願

3月25日

錦増分教会 (錦江)

3月25日

錦行陽分教会 (錦江)

3月25日

錦春分教会 (錦江)

3月25日

錦道分教会 (錦江)

4月19日

吉永分教会 (益津)

4月19日

瀬戸川分教会 (益津)

4月25日

吉田分教会 (白羽)

6月30日

宇佐美分教会 (嶽東)

8月4日

中静分教会 (山名)

8月4日

巴上分教会 (岐美)

8月4日

明駿分教会 (高安)

8月10日

本翠分教会 (東本)

12月14日

焼津南分教会 (益津)

○承認書再下附願

4月19日

美和分教会 (益津)

13件

静岡教区学生会

立教186年

春の学生おぢぼがえり

～次代を担うようぼくへ～

2023.3/27~28

同世代の仲間とおぢぼに帰り、親神様教祖にお喜び頂こう！
まやの想いを心に治め、日々の生活での指針としよう！
仲間とたすけあい、次代を担うようぼくとをろう

日程

27日	08:30	嶽東大教会出発
	10:00	教務支庁出発
	11:30	山名大教会出発
	14:00	おぢぼ到着 神殿参拝
	15:00	お楽しみ行事
	18:00	夕食
28日	10:00	式典参加
	12:00	直属アワー
	16:00	おぢぼ出発

要項

内 容	28日式典参加（本部中庭）
参加費	9,000 円
持 物	宿泊道具、ルッピ、 保険証マイナナンバー
宿 泊	山名詰所
備 考	感染対策を十分に行ったうえで帰参いたします。参加者には事前の検温、体調管理をお願いいたします。当日発熱がある場合、参加をご遠慮いただきます

参加方法

- ①～③いずれかの方法でお申し込みください
- ①支部の担当者に連絡
- ②下記の QR コードから参加フォームを記入
- ③問い合わせ番号に連絡



問い合わせ

静岡教区学生担当委員会

岡野多吉委員長

TEL 090-1479-7369

教区学生会
公式 LINE

